



緑区のぶどう



緑区には、徳重から桶狭間にかけて南北にぶどうの直売所が23ヶ所あります。ちょっと足をのばせば、区内でぶどうの1年を見ることができます。その過程の写真を通してご紹介します。



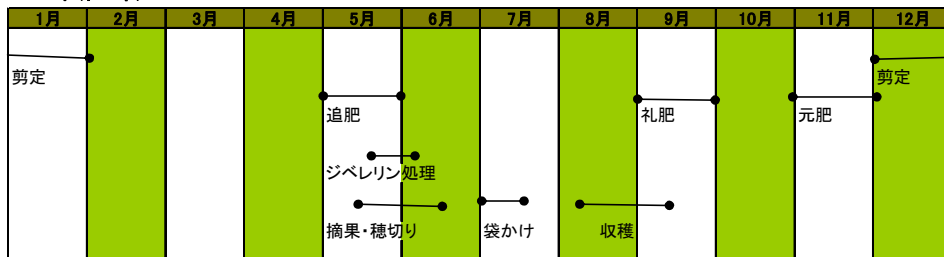
花が咲いた後

ジベレリンとは種なしにするための植物ホルモン剤で、満開時と咲いた後に写真のように浸します。赤い色は、食紅です。一日に2回もつけない様にするための目印になります。



ジベレリン処理

ぶどうの一年(巨峰)



深川さん(乗鞍三丁目)



寺島さん(亀ヶ洞一丁目)



袋かけ



6月中旬の作業は、摘果。一房35粒~40粒になるように摘果を行う。

房の上から下まで実がついていると真ん中にあまり実がつかなくなるので上のほうをむしったり、下の方を間引いて「向こうが透けて見えるぐらい」にする。そうすることで一粒が大きくなる。(10g以上)。商品としては一房500gになるようにしている。

直売所に行ってみよう!

8月の始め~9月中旬ごろまで

直売所によってちがいますのでご了承ください。

緑区の旬にふれようクイズ

ぶどう1本の木で大きくなるとどのくらいの面積まで広がるでしょうか?

- ア 50㎡以下
- イ 50~300㎡
- ウ 300㎡以上

答えは、裏面にあります。

浅井さんご夫妻(鳴海町字細根)



樹齢40年以上のぶどうの木
浅井ぶどう園(鳴海町字細根)

緑区の農産物



今回は、桶狭間の青山さんを取材しました。



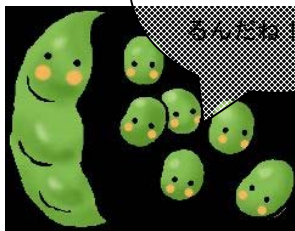
さといも畑

十六ささげ



青山さんの畑は、桶狭間古戦場公園の南側にあります。畑からは大池と JA みどり桶狭間支店が見えます。畑でとれた野菜は、毎週土曜日の農協朝市と豊明の朝市に出しているそうです。

『ささげ』ってこんなふうに見えるんだね！



第58回名古屋市農産物品評会特選入賞者のご紹介

平成21年7月9、10日に天白区の農業センターで農産物品評会がありました。

なす



名古屋市会議長賞

花井典彦さん(徳重一丁目)

ばれいしょ



名古屋市長賞

梶野十一さん

(有松町大字桶狭間字上ノ山)

クッション(皮製)



愛知県農業共同組合中央会長賞

鈴木康子さん(鳴海町字大清水)

緑区内のイベント(今後の予定)

7月25日(土) JA なごや大高支店

夏のJAフェア

9月26日(土) 大高斎田抜穂祭

10月17日(土) 緑区区民まつり

(大高緑地)

11月3日(土) JA みどり農協まつり

(本店にて)

伝統野菜大高菜の種とグリーンサブリ配布予定！おたのしみに！！お友達をさそってきてください。

グリーンサブリをご存知ですか。

昨年、緑生涯学習センターでの講座を受けられた方は、ご存知かと思いますが、スーパーや一部の小学校の給食からでた残渣(生ごみ)から作った堆肥です。港区に大きな堆肥化工場があり、そこでできた堆肥を使って大高のブロッコリーをつくっています。今年の区民まつりで配布します。みなさんと循環型農業の小さな輪ができればいいなと思います。